

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社ネクステージ（証券コード:3186）

【新規】

長期発行体格付
格付の見通し

BBB+
安定的

■格付事由

- 98年設立の中古車販売、買取の大手。輸入車販売の専門店として設立後、中古車販売、整備、中古車買取など業容を拡大している。車両やカー用品の販売のみならず、点検、整備、車検、自動車保険、買取、次回の自動車購入の提案まで、顧客のカーライフに生涯にわたり寄り添うべく、様々なサービスをワンストップで提供している。23/11期末の店舗数は295店舗であり、内訳は総合店80店舗、買取店147店舗（総合店などとの併設店含む）、新車ディーラー26店舗などとなっている。一貫したサービスを提供できる総合店の展開を進めているほか、注力する買取店も増加傾向にある。中古車業界全体への信頼感低下が懸念される中、当社は不適切な事案を根本から発生させない体制整備に取り組んでおり、その一環として23年10月にインセンティブを廃止した。
- 店舗の大型化、自動車に関する一貫したサービス体制の整備などにより、中古車販売、買取大手の地位を確立している。小売販売台数、買取台数はともに順調に伸びている。台当たり利益はインセンティブ廃止後に減少したが、足元において改善がみられる。総合店をはじめとした拠点拡充は、顧客の幅広いニーズに対応しつつ需要を獲得していくことが見込まれ、今後、収益基盤の強化につながっていくとみられる。当社はインセンティブ廃止のほか、案件を複数人で対応するチーム制を導入するなど、経営体制の整備に取り組んでいる。これら施策を展開しつつ、人材の育成確保を進めていくことが重要な課題とみている。事業拡大に向けた投資が続くと予想されるが、利益蓄積に伴う自己資本の増加などから一定の財務構成を維持していくことは可能とみられる。これらを総合的に勘案し、格付を「BBB+」、見通しを「安定的」とした。
- 総合店、買取店を中心とした店舗増加に伴い、小売販売台数および買取台数が伸長し、22/11期にかけて業績の拡大が続いていた。23/11期の売上高は4,634億円（前期比10.8%増）と新規出店、買取台数の増加などから過去最高を更新した。その一方、営業利益は160億円（同17.3%減）と台当たり利益の減少などが影響して減益となったが、過去2番目の水準を確保した。24/11期は売上高5,450億円（同17.6%増）、営業利益200億円（同24.3%増）を計画している。店舗網の拡充、それに伴う販売台数の増加などを織り込んでいく。インセンティブ廃止後、付属品や金融商品といった付帯ビジネスが低下し、台当たり利益が減少していたが、24/11期第1四半期では改善の動きがみられる。評価制度の変更などの施策の浸透により人材の育成確保が進み、販売台数の増加と台当たり利益の向上の両立につながっていくか確認を進めていく。
- 23/11期末の自己資本比率は37.5%（22/11期末34.9%）、デット・エクイティ・レシオ（DER）は1.16倍（同1.36倍）、ネットDERは0.72倍（同1.01倍）となった。低価格帯の車両を中心とした商品構成の見直し、小売販売状況に応じたオートオークションの活用により在庫金額が減少したことなどが、財務諸指標改善の背景にある。今後、総合店および買取店を中心とした店舗網の拡大など事業成長に向けた投資の実施が予想される。需要に対応した在庫コントロールも継続的に実施されており、財務構成の安定性を維持していくことは可能と考えられる。

（担当）上村 暁生・大塚 浩芳

■ 格付対象

発行体：株式会社ネクステージ

【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年6月18日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：上村 暁生
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年2月1日）として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社ネクステージ
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル